認定 NPO 法人　神奈川県・小田原市指定 NPO 法人
小田原なぎさ会

小田原なぎさ会通信

No.４１
２０２６年１０月１日発行

私たちは、「様々な障害のある皆さんが『それぞれの形』で『その方らしく』自立した社会生活を送ること」を支援する活動に取組んでいます。①気軽に立ち寄れる通所型の施設運営、②共生社会の実現に向けた普及啓発、③色々なところと力をあわせて(協力・協働)より効果的な支援を目指す連携、が事業の中心です。

つながりを広げ、更なる連携・協働へ

理事長　　乾　恒雄



今年の夏は日本全国で猛暑が続くと共に、台風や大雨による自然災害が発生するなど、気象変動が要因と思われる様々な現象が立て続けに起こり、多くの地域で厳しい状況に陥っています。また、同様の現象が世界各国でも起こっており、今こそ「世界中のみんながカを合わせて」、環境保全意識を高め、使用済みプラスチックの資源化など一人ひとりができることを行動に移すことが大切だと強く感じております。

さて、今年度も基本方針として「**現在取組み中の活動継続とその内容充実に重点を置く**」ことを掲げて、会員の皆様や関係団体とのつながりを大切にしながら、計画した活動を概ね順調に推進しております。

１年の最大イベントである「2026 年(令和８年)度の通常総会」を、５月 26 日に会員の皆様と共にご来賓をお招きして開催し、無事終了いたしました。また、５年ごとの更新が必要な認定 NPO 法人の継続については、更新書類の審査に加え、その後の実態確認審査も無事に通過し、認定を更新することができました。さらに、本年度は当法人が創立 20 周年を迎える記念すべき年でもあります。現在、令和９年１月 31 日に開催する記念式典に向けて準備を進めております。当法人がここまで大きく発展を遂げることができましたのは、会員の皆様をはじめ、関係各位の温かいご支援とご協力、そして協働の賜物です。心より感謝申し上げます。20 周年の節目を多くの皆様と共に祝えることを楽しみにしております。

施設運営では、次世代タイプ（GⅡ）に進化した『エコマグネット』を生産活動の中心にまで成長させ、施設利用者の工賃向上に大きく貢献しました。本年度の月平均工賃はコロナ禍前の２倍超を達成しています(詳細次ページ参照)。また、委託販売による新たな市場開拓にも挑戦を始めました(詳細次ページ参照)。更に、「GREEN×EXPO 2027」への参加に向けて、エコマグネットをテーマとした企画を応募するなど、活動分野の枠を超えた連携・協働にも力を注いでいます(詳細次ページ参照)。

また、「私達の活動の原点は普及啓発」にあると捉え、様々な機会を活用してその推進に取組んでいます。その道のりは平坦ではなく、一朝一夕に社会が変わるものではありません。しかし、多様性を尊重する社会の中で「障害のある方も大切な仲間として共に暮らす地域・社会を実現したいという想い」を大切にしながら、１人でも多くの皆様と共に、このような市民・社会活動の輪を広げてまいりましょう。



小田原なぎさ会は持続可能な開発目標（SDGｓ）を支援しています

上記の想いや私たちの活動は、「SDGs」における①福祉の促進や差別の解消・不平等の是正、②自然環境の保護・回復（持続可能な生態系や森林の保護・回復、気候変動の軽減 など）を通じた『誰一人取り残さない』持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指す思想と、深くつながっていると考えております。

基本理念の『人と人のつながりを大切に』しながら、その人らしい自立を支える活動に、引続き、ご理解とご協力、そして協働をよろしくお願いいたします。

このページでは、私たちの法人活動や運営施設「なぎさ」(地域活動支援センター)での各種活動・イベントなどの様子を中心に紹介させていただきます。

SDGs 推進と新たな連携・協働の進展

神奈川県及び小田原市の SDGs パートナーとして、障害福祉分野を中心に各種活動に取組んでいます。

次世代への SDGs 発信



「夏休みボランティア体験学習(おだわら市民交流センター企画)」で、次世代を担う小学生から高校生の皆さんを「なぎさ」に迎え、エコマグネット作りを通して『障害福祉の視点から考える SDGs』を体験的に学んでいただきました。
★利用者さんも指導者として活躍し、笑顔あふれる交流の機会に！



引続き、SDGs への取組みや各種機関や団体とのつながりを深める中で、活動分野や立場の違いを超えて広く連携・協働を推進し、私たちの活動を発展させていきます。

エコマグネットの販売拡大と今後

コロナ禍で生まれたアップサイクル(Upcycle)自主製品「エコマグネット」は、好調にその販売数を伸ばしています。また、本年度から『委託販売』へのチャレンジを開始しました。

委託販売へチャレンジ開始

以前から検討していたものの、なかなか行動に移せずにいた「エコマグネットの委託販売」への挑戦を始めました。

先ずは活動拠点である小田原の特色を生かし、小田原城址公園内の売店で北条五代と梅丸キャラクターのエコマグネットを扱っていただけるよう、交渉から始めました。初めての経験であり、売店との交渉に至るまでに相応の時間を要しましたが、当法人の障害福祉に対する想いや活動内容を丁寧にお伝えした結果、最終的にはご協力をいただくことができました。



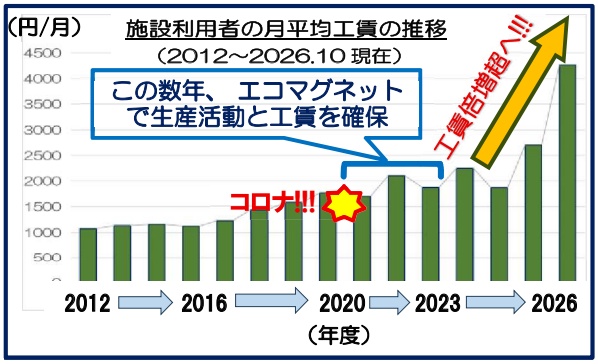


続いて、南足柄市にある SDGs に積極的に取り組まれている温泉施設を訪問し、ご当地の金太郎キャラクターなどを活用したエコマグネットをご紹介しました。併せて、エコマグネット誕生の経緯や当法人の障害福祉への様々な取組みについてご説明したところ、その趣旨にご賛同いただき、委託販売を快くお引き受けいただくことができました。

委託販売の取組みはまだ始まったばかりであり、今は「小さな一歩」に過ぎません。しかし、粘り強く活動を続けることで、やがて「大きな実り」につなげて行きたいと考えています。

施設利用者の大幅な工賃向上へ

コロナ禍における生産活動と工賃確保を支えたエコマグネットは、その後、製作販売数を大きく伸ばすと共に、基本構造を改善した次世代タイプ（GⅡ）への進化により、部材コストの削減と作業性の向上を実現し、利用者の工賃向上にも大きく寄与しています。
2026 年度（8 月現在）には、対コロナ禍前で月平均工賃の倍増化を達成しました。



GREEN×EXPO 2027 へ参加応募

2027 年(令和 9 年)3 月から開催される「GREEN×EXPO 2027」の『レッツグリーンアクション』への参加を目指し、「環境にやさしいアップサイクル製品『エコマグネット』を作ろう！」という企画で企画書を提出し、応募しました。現在、審査結果を心待ちにしているところです。

本博覧会の正式名称は「国際園芸博覧会」であり、主には植物や花、緑をテーマとした国際的な催しです。一方で、環境や自然、持続可能な社会の実現も重要なテーマとなっています。私たちは、エコマグネットをはじめとする障害福祉の取組みもその実現に欠かせないものであると考え、応募しました。来場者との対話やエコマグネット作りの体験を通して、自然や環境と共に生きる暮らしについて考え、未来に向けた行動のきっかけになれば嬉しく思います。

オーダー受注・イベント販売・委託販売・SDGs 等のイベントへの出展など、様々な機会を通して、多くの方々にエコマグネットを手に取っていただけるようになってきました。「エコマグネットの吸引力」のように、人と人、人と地域、そして人と社会をつなぐ活動を継続し、私たちの障害福祉活動を広く知っていただくと共に、新たな協働の芽を育んでいきます。

医療・支援機関との連携強化 ～更なる「つながり」へ～

3/9 の曽我病院精神科訪問に続き、9/1 にはクローバー(おだわら障がい者総合相談支援センター)、更に 9/14/には曽我病院のデイケア科を訪問し、「小田原なぎさ会」及び運営施設「なぎさ」について紹介させていただきました。いずれも初めての試みでしたが、地域社会において重要な役割を担いながらも、近年その存在が広く認知されているとは言い難い「地域活動支援センター」について、その存在意義や魅力、そして「なぎさ」の特色ある取組みを中心に発信させていただきました。

クローバー訪問(9/1)

クローバーとは、小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町の１市３町から委託を受けている障害者相談支援事業所です。当日は各地区の職員さんが集まる会議の場で、発信の機会を設けていただきました。プレゼンテーション終了後には、「柔軟な発想のもとに、活発に活動している「なぎさ」のような地域活動支援センターにこそ、国や自治体が手厚く支援すべきである」とのご意見を多数いただきました。収支面で厳しい経営状況が続く中、このような評価や激励のお言葉は、今後の活動を支える大きな力となりました。



曽我病院 デイケア科訪問(9/14)

デイケアとは、病院などに併設され、医師の指示のもとで各種医療サービスを提供する施設です。当日は、「なぎさ」への通所手続きや利用にあたっての条件・利用時間など多くの質問を職員や利用者のみなさんからいただき、会話のキャッチボールで理解を深めていただきました。利用者のみなさんも高い関心を持っていただけた手応えがあり、後日早速電話での問合せや相談をいただくなど、早速反響につながりました。

このような取組みを通じて、医療や支援機関との相互理解と連携を深める中で、障害のある方々が退院して地域生活へ移行する際に、私たちの地域活動支援センターが「地域社会とのパイプ役」として大きな役割を果たすことを再認識しました。今後もこのような発信と交流の機会を大切にしながら、医療や支援機関とのつながりを更に深め、連携の輪を広げていきたいと考えています。

第 13 回　なぎさ祭開催（9月 25 日）



毎年恒例の「なぎさ祭」は、今年で 13 年目を迎えました。
今回は、より多くの地域の皆様にお越しいただけるように検討した結果、地域のコミュニティーホール「かるがも」で初めて開催しました。階段の上り下りがないバリアフリー環境や充実したトイレ設備など、高齢の方にも安心してご参加いただける会場として選定したものです。

オリジナルソング「いつまでも なぎさ会」の大合唱で幕を開いたなぎさ祭。利用者の皆さんによるハンドベル演奏や、初めて挑戦した手話コーラスを披露しました。続いて、共同作品「秋の紅葉」や個性あふれる個人作品を紹介。その後は恒例のジェスチャーゲームとビンゴ大会で会場は大いに沸きました。最後は、富士和会と南鴨宮ボランティア会の皆様のご協力による盆踊りで締めくくりました。



笑顔の司会



共同(上)・個人(下)作品紹介



≪利用者さんの声≫
- 自分は司会をやったのですが、予想よりうまくできて良かったです。Y.S さん
- 出てみて、ぼんおどりをおどってみたら、ボランティアのかたがかおをおぼえてくれて、「よかったよ！」といってくれて、うれしかったです。　S.U さん
- 大きな会場で緊張しました。ハンドベル・手話がうまく出来て良かったです。R.T さん

≪地域の皆さまの声≫
- 「かるがも」は広くて良いです。
- 観て、参加して、利用者さんと仲良くなれて、超うれしー！
- いただいたエコマグネットのこと、良く知っています！
- ダンスや劇なども見てみたいです。

当日プレゼントした限定デザインのエコマグネット





地域交流の場

おかげさまで当日は多くの笑顔にあふれ、大盛況のうちに終えることができました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。今後もより多くの皆様に足を運んでいただき、私たちの活動の一端を体感していただける交流の場として、更に発展させていきたいと考えています。

事務局からのお知らせ

認定ＮＰＯ法人小田原なぎさ会では、毎月下記のような様々なイベント等を企画しております。
会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。お問い合わせは事務局までご連絡願います。

●今までの主な活動（R8年４月～R8年９月）

4/1　機関紙 小田原なぎさ会通信 No.40 発行
4/22　かながわＳＤＧｓパートナーＭＴＧ参加
4/24　令和８年度第１回理事会開催
5/26　2026 年（令和８年）度通常総会開催
6/17　第１回地域ネットワーク会議(広域)開催
6/30　農作業「収穫祭」開催
7/6　南鴨宮三区防災研修会参加
7/10　「なみのこ村」バーベキュー開催
7/15　第２回地域ネットワーク会議(近隣)開催
7/24　夏休み子供ＳＤＧｓイベント開催(小田原市主催)
7/29　平塚看護大学校「撫子祭」参加（普及啓発・ｴｺﾏｸﾞﾈｯﾄ販売）
8/8　「南鴨宮夏祭り」参加・出店（普及啓発・ｴｺﾏｸﾞﾈｯﾄ販売）
8/10　夏休みボランティア体験学習（UMECO 主催）開催
8/19　令和８年度第２回理事会開催
9/1　施設内（なぎさ）防災訓練
9/1　総合支援ｾﾝﾀｰ クローバー訪問：法人及び運営施設紹介
9/14　曽我病院 デイケア科 訪問：法人及び運営施設紹介
9/25　「第１３回なぎさ祭」開催

●今後の主な活動予定（R8年１０月～R9年3月）

10/1　機関紙 小田原なぎさ会通信 No.41 発行
10/２　赤い羽根共同募金活動参加（共同募金会）
10/４　「富士見地区民レクレーション祭り」参加
10/4　企業 NPO 学校パートナーMTG 参加(県主催)
10/12　「宙のとびら秋まつり」参加（普及啓発・ｴｺﾏｸﾞ販売）
10/17　おだわらﾊｰﾄﾌｪｽﾀ参加（普及啓発・ｴｺﾏｸﾞ販売）
10/18　生きがいふれあいフェスティバル参加
10/30　「おたのしみ会」(市事連主催)参加
11/7　小田原いっせい防災訓練(小田原市主催)参加
11/8　新田公民館文化祭(公民館主催)参加（普及啓発）
11/13　平塚看護大学校 地域密着健康教育企画実施
11/21～22　おだわらツーデーマーチ参加（普及啓発・ｴｺﾏｸﾞﾈｯﾄ販売）
11/29　第１１回 UMECO 祭り参加（普及啓発・ｴｺﾏｸﾞﾈｯﾄ販売）
12/上旬　第３回地域ネットワーク会議(広域)開催
12/11　ハートメッセージ(県精連主催)参加（普及啓発・ｴｺﾏｸﾞﾈｯﾄ販売）
12/18　クリスマス地域交流会開催
1/31　創立 20 周年記念式典開催
2/中旬　第４回地域ネットワーク会議(近隣)開催
3/27　Ｒﾌｪｽ(おだわらつながる福祉展)参加（普及啓発・ｴｺﾏｸﾞﾈｯﾄ販売）
3/12　令和８年度 第３回理事会開催

●小田原なぎさ会への入会のご案内とご寄附について

★会員募集中：一緒に障害のある皆さんの多面的な支援を進めましょう！

会員になっていただくことで、障害者の支援活動につながります。大切に考えていることは『皆さんの想いや心であり、仲間意識』なのです。直接的な活動の時間確保を求めるようなことはありません。

◆小田原なぎさ会会費について
・正会員　：(個人)　入会金０円　年会費 2,000 円　　(団体) 入会金０円　年会費 10,000 円
・賛助会員：(個人)　入会金０円　年会費 1,000 円/口　(団体) 入会金０円　年会費 5,000 円/口

★「寄附」というかたちで、小田原なぎさ会の活動を応援願います！

当法人は『認定 NPO 法人』及び『指定 NPO 法人』を取得しています。寄附をしていただきますと申告することで、国税と地方税をあわせて寄附金額の最大 50%が税額から控除されます。また、法人様からのご寄附の場合では損金算入限度額が拡大されます。

会費・寄附の振り込みは下記口座へお願いいたします。会費支払いには、便利な口座振替（年１回自動引き落とし）もございます。詳しくは事務局までお問い合わせください。
■ゆうちょ銀行 記号１０９７０　番号３４２７６１３１　トクヒ）オダワラナギサカイ
＊他銀行から振り込みの場合　（店名）〇九八（ゼロキュウハチ）（店番）098　普通貯金３４２７６１３
■さがみ信用金庫　南鴨宮支店（普）0226591 トクヒ）オダワラナギサカイ

次号（No.42）は令和９年４月に発行予定です。当機関紙の感想や障害福祉に関する情報等がございましたら、下記メールアドレス（o-nagisa@nifty.com）までお寄せ願います。
これからも、更に多くの皆様に愛される「小田原なぎさ会通信」を目指し、より良い紙面作りに努めてまいります。

発行：認定 NPO 法人　神奈川県・小田原市指定 NPO 法人　小田原なぎさ会

〒250-0875　小田原市南鴨宮３-１６-２０ 2F
Tel/Fax 0465-47-4513
E-mail　o-nagisa@nifty.com
ホームページ　https://www.nagisakai.org/
Facebook　https://www.facebook.com/odawaranagisakai

小田原なぎさ会のホームページをご覧になるには
検索サイトで「小田原なぎさ会」と入力いただくか
右の QR コードをスキャンでアクセスできます